

群 教 セ	G15 - 01
	令元.271集
	小-キャリア

令和元年度長期社会体験研修報告書

研修先：株式会社群馬銀行

長期社会体験研修員 市村 宏美

I 研修内容

1 研修先の概要

株式会社群馬銀行は、群馬県前橋市元総社町に本店を置く、1932年（昭和7年）9月に設立された地方銀行である。店舗は県内に106か店、県外（埼玉、栃木、東京、神奈川、千葉、長野、大阪）に48か店、海外（ニューヨーク）1か店支店を展開し、3,072人の従業員が業務に携わっている。四つの企業理念「地域社会の発展を常に考え行動すること」「お客様との創造的な関係を深めること」「よき企業人であるためによき市民であること」「一人ひとりの顔が見える表情豊かな組織であること」を掲げている。2019年4月からスタートし、3年間を計画期間とする中期経営計画「Innovation 新次元～価値実現へ向けて～」では、過去に取り組んできた「価値ある提案」を礎にその提案価値を実現させることに主眼を置いている。「3つの改革によるプラットフォームの転換」を基本方針とした戦略を基に、お客様の真のニーズに応えられる質の高いコンサルティングを実践し、収益構造の抜本的な転換を目指している。

2 研修先での主な研修内容

(1) 群馬銀行人事部（人材開発室）での研修（研修場所：群馬銀行本部、群馬銀行研修所）

人材育成や研修に関わる資料作成や書類確認、研修後のアンケート集計・分析、人材に関わるデータ入力などの業務を行った。そこでは、仕事を正確に進めることや仕事に誠実に向き合うことの大切さを認識し、理解しやすい資料作成の方法や論理的な考え方についても学ぶことができた。

(2) 各種研修の参加（研修場所：群馬銀行研修所、他）

研修所で開催される階層別研修や業務別研修の準備や運営補助を行い、研修も受講した。研修の運営や研修内容の企画・立案の仕方、聞き手に伝わる話し方などを学ぶことができた。

【4月～9月】

階層別研修では、入行時研修、新任代理研修、3年目行員研修、新任係長研修を受講した。また、端末研修では、端末操作による振り込み、送金の操作を行った。業務別研修では、預かり資産役割認識研修、融資基礎研修、法人営業初級研修、国際業務研修、外国送金研修を受講した。女性行員による専門チーム「L-NEXT」のミーティングに参加し、「若手行員を育てるための体系的なプログラム」では、4年目行員のディズニースタディを受講した。

【10月～3月】

階層別研修では、中堅行員研修、新任次課長研修を受講した。「若手行員を育てるための体系的なプログラム」では、2年目行員の金融教育体験、3年目行員のCM制作体験、5年目行員の経営企画研究体験に参加した。その他、職場開発研修やOJT人材育成研修などにも参加した。

3 キャリア教育実践

(1) キャリア教育資料について

キャリア教育資料は、「今もこれからも大切なこと～銀行での仕事を通して～」をテーマとした。銀行での研修を通して大切だと実感した四つの「大切なこと」を学校生活で身に付け、高めてほしいと考えて作成した。具体的には「コミュニケーション能力」「課題解決力・実行力」の二つの能力と、「信頼されること」「学び続けること」の二つの心構えについて、銀行での経験と、行員へのインタビューから、子供たちにその大切さが伝わるような内容で構成した。

(2) 実践の概要（長野原町立応桑小学校）

授業実践

題材名 「話し合いについて考えよう」（学級活動）

対象 第6学年1組 9名

銀行における人材育成研修において「コミュニケーション能力」の必要性を実感し、児童一人一人にこの力を高めたいと考えた。今後、他者と関わる場面が増え、社会集団や人間関係の中で求められる「話し合い」をテーマとして、その在り方を考える学習内容とした。まず、児童はアンケートを基に、今までの話し合い活動について振り返り、「相手の情報を最後までしっかりと聞く」「自分の情報を相手が分かるように伝える」をポイントとして、「先生が住むアパート」を題材に話し合い活動を行った。活動後は、「話し合いをするときに大切なことは何であったか」について意見を出し合い、今後の話し合いをするときの行動目標を各自が決め、実践できるよう工夫した。

II 研修成果

1 群馬銀行人事部（人材開発室）での研修について

人事部人材開発室での研修を通して、群馬銀行の人材育成について学ぶことができた。銀行業務では、様々な専門知識の習得が求められており、多くの行員がキャリアアップや自己実現を目指している。人材開発室では、そうした行員のために様々な研修を企画・運営していた。また、働きやすい職場環境にするための施策の立案・検討・改善等を行っていた。このような実務研修から、「コミュニケーション能力」や「課題解決力・実行力」の重要性を認識することができた。学校でも、話し合い活動を取り入れた課題解決活動を各教科の授業で実践していきたい。

2 群馬銀行における各種研修について

銀行員はお客様から「信頼されること」が最も重要である。様々な研修講座を受講することや銀行員の方々と交流することを通して、コンプライアンス（法令遵守）や礼儀、人との接し方など社会人としての心構えを見直すことができた。また、組織内の各階層に応じた役割を再認識することができた。業務別研修では、経済、金融、社会情勢について学び、視野を広げるとともに、社会人になっても「学び続けること」の大切さを実感した。学校においても、「信頼されること」を基本に、学ぶことの楽しさを実感しながら、自ら「学び続ける」児童を育てていきたい。

3 キャリア教育実践について

多くの活動を支える重要な能力として、「コミュニケーション能力」の大切さ、特に話し合いの重要性を研修の中で強く実感した。そこで「話し合うときに大切なことは何か」を考えさせる授業を実践したことで、子供たちは一人一人が実感を伴った今後の行動目標を決定することができた。「コミュニケーション能力」を高めるためには、集団生活の中での積み重ねが必要であると感じた。各教科や特別活動などにおいて、話し合い活動を積極的に取り入れていきたい。

III まとめ

本研修を通して、群馬銀行をはじめ、様々な方々との出会いから、社会人としての自分を見つめ直すことができた。総合教育センターでの研修では、キャリア形成に必要な子供たちに身に付けさせるべき基礎的・汎用的能力について学び、マネジメントという視点でもキャリア教育について考えることができた。キャリア教育実践では、「コミュニケーション能力」を含め研修で感じた「信頼されること」「学び続けること」「課題解決力・実行力」の大切さを伝える授業を行うことができた。今後も学校現場での実践を重ね、子供たちのキャリア形成を支援していきたい。

（担当指導主事 費田 浩明）